

第 2 次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和 4 年度 評価シート

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
	1 企業誘致を推進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	企業誘致推進課
関係課	まちづくり政策課

3 基本施策の方向性
自動車交通の利便性や産業用地取得コストが低いといった本市のポテンシャルを生かして企業誘致を推進します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
企業立地件数(社、累計) (開発許可等取得件数含む)	目標値		➡	➡	➡	➡	15	◎
	実績値	3	16	20	27			
IT関連企業の市内進出数 (社、累計)	目標値		➡	➡	➡	➡	1	▲
	実績値	0	0	0	0			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	企業に対する羽生市のPR 評価 ◎ ・事業用地情報等をホームページに掲載し情報発信を行った。 ・企業訪問や市内外の企業へ向けたダイレクトメールによるアンケート調査の実施や誘致に関して市の魅力を伝えるなど、積極的な取り組みを行った。 (企業訪問 R2年度:7社、R3年度:8社、R4年度:12社 計27社)(アンケート送付企業139社、回答企業37社、回答率26.6%)	今後の取り組み予定 ・事業用地情報の追加等によるホームページの充実に加え、ダイレクトメールにより市の魅力を情報発信していく。 ・企業誘致の新たな優遇制度の検討を行う。
(2)	企業立地相談のワンストップサービスの充実 評価 ◎ ・新規立地相談や既存施設の拡張相談に対する開発許可取得に関する手続きについて、関係各課と調整し、サービス向上を図った。(R2年度:15社、R3年度:4社、R4年度:7社)	今後の取り組み予定 ・羽生市への立地検討企業及び既存施設の事業拡張意欲がある企業から受ける相談に対して、行政手続きに関する支援を行い、開発許可取得に向けて、総合的に関係各課との調整をしていく。
(3)	岩瀬地区における産業用地の整備 評価 ◎ ・上岩瀬地区は市街化区域に編入、用地買収が完了し、県企業局による造成工事及び市施工の道路改良が完了した。また、令和5年3月末に立地企業へ引渡し完了した。 ・区画整理事業地内(北工区)は立地希望企業が決定し、企業側と立地に向けて協議も進み、区画整理組合による整備工事も着手され、立地企業へ一部引渡し済み建築工事が令和5年3月に始まった。	今後の取り組み予定 ・上岩瀬地区は、公共施設の引渡しを早期に完了するとともに、立地企業の建築工事着手に向け関係各課との調整を行い、早期の工事着手及び竣工を目指す。 ・区画整理事業地内(北工区)は、立地企業の竣工及び操業の支援を実施し、残りの用地の引渡しを行う。
(4)	企業ニーズに応じた柔軟な対応 評価 ○ ・主要幹線道路沿い企業立地について、都計法第34条第12号の区域指定を行った。 区域指定か所数 令和2年度:3か所 令和3年度:4か所 令和4年度:0か所 指定7カ所のうち 竣工済4か所、工事中3か所	今後の取り組み予定 ・今後も関係各課と連携の上、企業誘致検討エリア内における立地検討企業と協議し、誘致に向けて支援していく。
(5)	IT関連企業の誘致 評価 ▲ ・羽生駅東口の市有地活用を過去に検討した経緯があるが、市としての方針が決まっていない状況下で、誘致に関する取り組みができなかった。	今後の取り組み予定 ・立地適正化計画策定時に併せて誘致について検討を行う。
(6)		今後の取り組み予定

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
	2 農業を活性化させる

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	農政課
関係課	

3 基本施策の方向性
次世代に向けた魅力ある産業として、安心して受け継げる農業の実現を目指します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
法人の農業参入数(法人、累計)	目標値		➡	➡	➡	➡	10	○
	実績値	1	5	5	6			
農地中間管理事業と連携した基盤整備事業実施面積(ha、累計)	目標値		➡	➡	➡	➡	300	▲
	実績値	164	187.6	188.9	193.0			
農地中間管理機構への貸付面積(ha、累計)	目標値		➡	➡	➡	➡	700	○
	実績値	411	470.0	485.2	574.2			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	10ha規模の農業経営体の育成及び法人化への誘導 評価 ○	今後の取り組み予定 ・認定農業者への経営改善計画のサポート ・県、JA、関係機関と連携し、法人化・企業参入等の情報収集 ・農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積の促進(R4:82ha)
(2)	新規就農者及び農業後継者への支援 評価 ○	今後の取り組み予定 ・担い手育成の運営や農業後継者支援の継続 ・農産物の新たな販売方法の確保 ・チャリティファームと連携した就職就農者の確保 ・新規就農イベント等で新規就農支援をPR
(3)	観光農園等基本構想地等への企業の農業参入支援 評価 ○	今後の取り組み予定 ・観光農園等基本構想計画地への参入企業の選定継続及び企業との連携 ・観光農園等基本構想計画地への参入企業と地域活性化について連携強化 ・参入企業の生産施設拡大への支援
(4)	スマート農業の推進 評価 ○	今後の取り組み予定 ・北埼玉スマート農業研究会の活動を支援継続 ・導入事例等の情報収集及び情報提供の継続 ・ドローンによる水稲直播の実証実験を支援 ・実証実験の結果を基に横展開の検討 ・スマート農業導入を支援
(5)	6次産業化の推進 評価 ○	今後の取り組み予定 ・6次産業化に取り組む農業者支援の継続 ・農産物の新たな販売方法の確保 ・相談体制の充実
(6)	埼玉型ほ場整備の実施 評価 ○	今後の取り組み予定 ・埼玉型ほ場整備事業の実施(大房地区、村君地区)の実施(R3~6) ・県営調査(弥勒北地区)の継続実施(R5~6) ・公社営埼玉型ほ場整備(藤井下組(第2期))地区の事業化(R6)

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
	2 農業を活性化させる

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	農政課
関係課	

3 基本施策の方向性
次世代に向けた魅力ある産業として、安心して受け継げる農業の実現を目指します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
<p>1-2 1枚目 にまとめて記載</p>								
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(7)	畦畔撤去による区画拡大工事の実施 ・公社営簡易基盤整備事業による区画拡大工事の実施(R2 発戸漆畑地区:6.2ha、新郷(第2期)地区:17.4ha、R3 発戸猿淵地区:1.3ha) ・次年度以降に実施する地区の掘り起こし	今後の取り組み予定 ・新規要望地区の掘り起こし
(8)	耕作放棄地の解消に対する支援 ・農業委員会の農地利用状況調査により遊休農地を確認し、農地の利用集積と遊休農地の発生防止、解消対策を実施 耕作放棄地解消面積8.0ha(R5.3末現在) ・農業者による耕作放棄地の解消及び営農再開支援(補助交付 R2:2件 4,815㎡ R3:5件 13,270㎡ R4:3件 3,246㎡)	今後の取り組み予定 ・農業委員会の農地利用状況調査を実施し、遊休農地を把握する。 ・関係機関と連携し、遊休農地の発生防止、解消対策を実施する。
(9)	地域の意見集約、相談の受付、アドバイス ・各地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を推進(農業委員等が調整し、集積した農地 R4:5.3ha) ・農地相談会の実施	今後の取り組み予定 ・各地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を推進 ・農地相談会の実施継続
(10)	県・JA等関係機関との連携強化 ・農地中間管理機構管による基盤整備に合わせた農地の集積(R2:新郷 18.7ha 発戸 6.8ha) ・農地中間管理事業推進会議の開催 ・県主催の研修会等に参加	今後の取り組み予定 ・農地中間管理事業推進会議の開催 ・農地中間管理事業の推進に係る地域会議(県、市、農林公社、JA、農業委員会)への参画継続
(11)	実質化に向けた「人・農地プラン」の作成 ・アンケート、意見募集等を実施 ・アンケート結果や農業者の意見を反映させ、地域の課題や方向性を協議 ・各地区における担い手の発掘及び確保 ・市内20地区の実質化した人・農地プランを作成及び見直し ・地域計画策定に向けたアンケートを実施	今後の取り組み予定 ・地域計画策定のモデル地区を選定し、地域計画を策定 ・地域計画策定に向け、地区ごとの話し合い等を実施 ・実質化した人・農地プランの見直し
(12)		今後の取り組み予定

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
	3 働きやすい環境づくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	商工課
関係課	

3 基本施策の方向性
市内で働きたいと思う方の雇用を守り、多様な就業環境づくりを創出します。また、創業支援、空き店舗の活用により、市内で起業する方の支援を行います。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
創業支援事業計画を活用した 創業者数(人/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	5	◎
	実績値	3	4	3	5			
羽生市ふるさとハローワーク 就職率(%、就職者数/新規 求職者)	目標値		➡	➡	➡	➡	45	◎
	実績値	37	29	38	76			
多様な働き方実践企業認定件 数(件、累計)	目標値		➡	➡	➡	➡	50	▲
	実績値	34	36	36	31			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	各種就労支援事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> 国、県やハローワークなど関係団体と連携した各種就労支援事業の実施 ○就職支援セミナー R2:9回110人 R3:4回57人 R4:7回99人 ○シニア向け就職面接会 R2:応募企業6社 39人 R3:応募企業6社 26人 R4:応募企業6社 参加者31人 ○高齢者・障がい者などの雇用支援事業に関するチラシの配布、掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・ハローワーク・県等と連携し、就労支援を行う。 ・就労支援事業に関する広報、事業チラシの掲示、案内等を行う。
(2)	正規雇用者労働者採用の促進及び就職後の支援事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> 国(埼玉労働局)、県、行田地区雇用対策協議会など関係団体と連携した正規雇用労働者採用の促進及び就職後の支援事業の実施 ○ふるさとハローワーク R2:利用者数 5,857名 新規求職者数 734名 就職者数 210名 R3:利用者数 6,171名 新規求職者数 764名 就職者数 290名 R4:利用者数 5,539名 新規求職者数 347名 就職者数 263名 ○行田地区雇用対策協議会・ハローワークとの共催により、行田地域若年者就職面接会を実施 ○就労奨励交付金事業の実施 R3:9事業者10名 R4:8事業者9名 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県、雇用対策協議会との共催による就職面接会の実施 ・社会参加の意欲のある高齢者のため、就業等の活動機会を確保・提供
(3)	起業家支援事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援ワンストップ相談窓口を設置・運営し、市内で創業する方の支援を実施 相談件数 R2:8件 R3:8件 R4:7件 ○創業支援セミナーの開催を支援し、市内で創業する方の支援を実施 参加者数 R2:11人 R3:20人 R4:21人 ○創業支援事業補助金 R2:4件 2,772千円 R3:3件 2,138千円 R4:5件 4,145千円 ○女性向け創業セミナーを開催。参加者数 R2:8人 R3:16人 R4:16人 ○シニアのための起業はじめ方セミナーを開催。参加者数 R2:19人 R3:19人 R4:19人 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画に基づく、創業支援ワンストップ相談窓口において創業支援 ・各種創業支援セミナー及び交流会の開催 ・創業支援事業補助金交付制度をPR・利用推進 ・チャレンジショップへの出店者募集
(4)	NEXT商店街プロジェクトによる空き店舗活用事業 評価 ◎	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街空き店舗対策モデル事業費補助金交付実績 R2:3件(うちNEXT採択商店街(上町・中央・松原)2件) R3:2件(うちNEXT採択商店街2件) R4:1件(うちNEXT採択商店街1件) 空き店舗出店件数のうち、MALL DESIGN実行委員会サポーター4名 ○空き店舗を再生及び活用した活動拠点施設(MD Library)を松原通り商店会内にオープン(R4.3) 応援実績 R3:延べ166人 R4:延べ212人 	<ul style="list-style-type: none"> ・県事業であるNEXT商店街プロジェクトは終了したが、引き続き商工会等と連携し、羽生市NEXT商店街プロジェクト事業として、商店街の持続的な発展のため事業を推進

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
	3 働きやすい環境づくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	商工課
関係課	

3 基本施策の方向性
市内で働きたいと思う方の雇用を守り、多様な就業環境づくりを創出します。また、創業支援、空き店舗の活用により、市内で起業する方の支援を行います。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
<p>1-3 1枚目 にまとめて記載</p>								
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(5)	商工団体と連携した労働者向けセミナー開催 評価 ○ ○埼玉県労働セミナー R2: 10人 配信期間 (R3.3.5~3.19) R3: 179人 配信期間 (R4.1.17~3.25) R4: 18人	今後の取り組み予定 ・国、県、商工会等と連携し、労働者に有益なセミナーを実施 ・市内労働者に対して、セミナーの周知、案内を行う。
(6)	市内企業の成長を促す経済的・技術的支援 評価 ○ ○融資あっせん・利子補給事業 ・市内企業の事業振興を図るため、セーフティネット・危機関連保証認定を実施 R2: 519件 R3: 23件 R4: 29件 ・市小口融資 R4年度末融資残高: 7,056千円 ・利子補給 R2: 156件 2,722,560円 R3: 115件 1,895,490円 R4: 87件 1,419,870円 ○住宅改修補助金交付事業 R2: 82件 5,929千円 R3: 138件 10,014千円 R4: 119件 8,626千円	今後の取り組み予定 ・市内企業の事業振興を図るため、普通貸付、特別小口融資のあっせん及び発動された際のセーフティネット・危機関連保証の認定 ・市内企業の振興を図るため、住宅改修補助の活用、利子補給事業の実施
(7)	市内企業に各種制度周知、支援 評価 ○ ○市内企業の事業継続のための支援 ・信用保証料補助 R2: 25件4,596千円 R3: 6件399千円 ・事業継続・家賃支援補助 R2: 102件12,450千円 ・活力支援、経営支援補助 R3: 518件63,950千円 ・飲食店特化型プレミアム付商品券 R2: 11,000千円 R3: 18,500千円 ・国県補助金、交付金制度のPRを市HPにて実施	今後の取り組み予定 ・補助制度のPR・利用推進、利用しやすい補助制度への改正の検討
(8)	評価	今後の取り組み予定
(9)	評価	今後の取り組み予定
(10)	評価	今後の取り組み予定

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ○順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する
	1 結婚を応援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	社会福祉課
関係課	

3 基本施策の方向性
結婚を希望する若者が、安心して結婚できるよう、環境づくりに努めます。

4 事業のKPI								
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
結婚相談事業による結婚成立数（件/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	3	○
	実績値	1	3	4	2			
カップリングパーティカップル成立数（組/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	18	▲
	実績値	15	5	5	12			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価（令和2～4年度）	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	カップリングパーティーの開催 結婚相談員の活動を支援するとともに、結婚相談会及びカップリングパーティーを開催し、結婚を希望する方々に出会いの場を提供。 カップリングパーティー3回開催（参加者：男性33名、女性32名、カップル成立12名）	○ 今後の取り組み予定 ・市内公共施設や企業へパーティー開催案内のポスター、チラシを配布し事業をPR。 ・パーティー参加者へ、結婚相談所への登録を呼びかける。 ・他市との合同パーティー開催予定。
(2)	結婚相談会事業 結婚相談会を毎月第1月曜日（於：市民プラザ）及び毎月第3月曜日（於：社会福祉協議会相談室）に実施（24回実施）。 相談件数100件。	○ 今後の取り組み予定 担当相談員と登録者の相談体制を密接にし、相談会や出会いの場等の情報提供を継続し行う予定。
(3)		○ 今後の取り組み予定
(4)		○ 今後の取り組み予定
(5)		○ 今後の取り組み予定
(6)		○ 今後の取り組み予定

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する
	2 妊娠・出産・子育てを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	健康づくり推進課
関係課	子育て支援課

3 基本施策の方向性
安心して妊娠・出産・子育てができるよう相談事業、助成事業その他の支援に努めます。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
子育て世代包括支援センターの認知度(妊娠期～3歳児を持つ家庭の認知度)(%)	目標値		➡	➡	➡	➡	60	◎
	実績値	—	66.0	61.6	70.2			
インフルエンザ予防接種率(生後6か月以上中学生以下)(%)	目標値		➡	➡	➡	➡	60	▲
	実績値	53	53	45	44			
こどもひろば(子育て支援拠点)等利用者数(人/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	30,000	▲
	実績値	17,130	10,457	7,952	12,303			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2～4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	子育て世代包括支援センター事業 評価 ◎	今後の取り組み予定
	OH31年度開設。健康づくり推進課窓口にて、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施 R2相談件数：303件 R3相談件数：258件 R4年度：299件	子育て支援課事業との協働を検討する
(2)	不妊治療費助成事業 評価 ◎	今後の取り組み予定
	〇特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)または特定不妊治療にかかる男性不妊治療を受けた方で、埼玉県不妊治療費助成事業の支給を受けられた方に対し、治療費のうち埼玉県の助成額を控除した額を助成(上限10万円) 助成件数R2年度：延30人 R3年度：延33人 R4年度：延べ55人	国や県の動向をみて事業を充実、継続する 一般不妊治療・生殖補助医療・男性不妊治療を受けた方で、保険適用の治療費に対して1/2の金額を助成(上限10万円)
(3)	病児・病後児保育の充実 評価 ◎	今後の取り組み予定
	〇市内2か所の保育施設にて、病児・病後児保育(体調不良児型)を実施 〇病児保育室(病児対応型)の施設整備を支援(令和3～5年度)	病児保育室(病児対応型)の施設整備の開設(令和6年度) 病児・病後児保育(体調不良型)施設を4カ所へ拡充(令和5年度)
(4)	子育て支援インフルエンザ予防接種費用の助成 評価 ○	今後の取り組み予定
	〇生後6か月児から中学校3年生までの子のインフルエンザワクチン接種費用の助成をする。自己負担額1,000円 接種者数 R2年度：延5,859人 R3年度：延4,769人 R4年度：延4,605人	事業を継続する
(5)	こどもひろば(子育て支援拠点)等による相談事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	〇子育てに関する悩みや不安の相談、子育て情報の提供などを市内に4カ所ある地域子育て支援センター及び市民プラザ内の「こどもひろば」にて実施した R2年度 利用人数：10,457人 利用組数：4,727組 R3年度 利用人数：7,952人 利用組数：3,621組 R4年度 利用人数：12,303人 利用組数：5,089組	事業を継続する
(6)	ファミリー・サポート・センター事業 評価 ◎	今後の取り組み予定
	〇仕事と子育てが両立できるよう会員組織にて、子育てをサポートする事業を実施 R2年度 会員数：180人 活動実績：79件 R3年度 会員数：194人 活動実績：105件 R4年度 会員数：209人 活動実績：189件	事業を継続する

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する
	2 妊娠・出産・子育てを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	健康づくり推進課
関係課	子育て支援課

3 基本施策の方向性
安心して妊娠・出産・子育てができるよう相談事業、助成事業その他の支援に努めます。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
<p>2-2 1枚目 にまとめて記載</p>								
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(7)	<p>子育て支援ヘルパー事業 評価 ○</p> <p>○妊産婦の家庭へ、家事等の援助を行うホームヘルパーを派遣し子育て支援を実施 R2年度 利用人数：5人 利用件数：53件 R3年度 利用人数：4人 利用件数：83件 R4年度 利用人数：6人 利用件数：86件</p>	<p>今後の取り組み予定 事業を継続</p>
(8)	評価	今後の取り組み予定
(9)	評価	今後の取り組み予定
(10)	評価	今後の取り組み予定
(11)	評価	今後の取り組み予定
(12)	評価	今後の取り組み予定

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する
	3 特色ある教育を提供する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	学校教育課
関係課	生涯学習課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
教育を市の魅力を発信する重要な手段と考え、「知・徳・体・コミュニケーション能力」を地域とともに育みます。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
全国学力状況調査(小6・中3全国差)	目標値		➡	➡	➡	➡	+2(小6) ±0(中3)	▲
	実績値	-1.7(小6) -5.9(中3)		+1.1(小6) -3.4(中3)	-0.7(小6) -3.7(中3)			
高校生インストラクター講座講師満足度(%)	目標値		➡	➡	➡	➡	80	◎
	実績値	55	—	—	70			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	小中一貫教育の推進 ○ 令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、夏季休業中に各中学校ブロックで参集する合同研修会は中止となった。令和4年度は、羽生市学力向上推進委員会において、中学校ブロックで学力向上に関する協議を行った。 ○各小・中学校が研究授業をする際に、中学校ブロックの学校に研究授業の案内文書を送付し、相互学習参観を実施した。	○ 今後の取り組み予定 ・合同研修会を実施したり、研究授業の相互学習参観を継続したりして、小中一貫教育の推進を図る。 ・再編成に向けた小中一貫教育のためのカリキュラムを作成し、小学校から中学校へ切れ目のない授業となるよう小中の連携を図る。
(2)	ICTを活用した教育の推進 ○ ○児童生徒1人1台の学習パソコンを整備し、各学校の授業等で活用を始めた。 ○Googleの指導者を招聘したり、GIGAスクールサポーターを配置したりし、各学校での学習パソコンの活用促進を図った。 ○令和2、3年度に、埼玉県教育委員会委嘱「情報活用能力育成推進事業」の研究発表を全県に向けて、須影小・南中において行った。	○ 今後の取り組み予定 ・児童生徒の多様な学習活動を支援するため、ベネッセ等と連携したり、各学校の取り組みを共有する会議を実施したりして、学習パソコンの更なる有効な活用方法を市内で共有できるようにする。
(3)	英語教育の推進 ◎ ○令和2・3・4年度も引き続き全小・中学校へのALTの常駐を行った。 ○令和2年度まで実施していたGTEC(英語4技能評価テスト)は中止し、令和3年度からは中学3年生に向けた英語検定料金の補助を実施した。 ○岩瀬グローバルスクール事業、村君英語村推進事業を継続実施した。 ○令和3年度、岩瀬小学校において、文部科学省による教育課程特例校の委嘱を受け、英語教育の研究発表を行った。	◎ 今後の取り組み予定 ・全小・中学校へのALTの常駐を継続する。 ・中学3年生を対象に、英語検定料金の補助を継続し、英語教育の推進を図る。
(4)	「子ども大学はにゅう」の開校 ○ ○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ○令和3年度・4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、規模縮小し開催した。令和4年度は、募集定員を超える応募があったため抽選を行った。結果、市内小学4年生~6年生の合計14名が参加し、学びの機会を提供した。	○ 今後の取り組み予定 ・小学校のカリキュラムとの調整を行い、夏季休業中の開催を検討する。 ・通常開催に向け、募集人数、実施日数、開催時期の見直しを図る。
(5)	高校生インストラクター講座の開催 ○ ○令和2年度、令和3年度とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ○令和4年度は、羽生第一高等学校、羽生実業高等学校、誠和福祉高等学校の3校で開催した。	○ 今後の取り組み予定 ・各校との日程調整を行い、市内全5高校での講座を目指し、学びの循環を創出する。
(6)	トップアスリート育成事業 ▲ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(令和2年度から令和4年度) ・実施種目を含め指定管理者との連携について協議・検討	▲ 今後の取り組み予定 ・指定管理者との継続した連携内容の検討 ・指定管理者への委託事業として市と共催で実施(令和5年度から)

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
	1 一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりを推進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	健康づくり推進課
関係課	高齢介護課・国保年金課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
市民一人ひとりが生涯にわたって健康な生活が送れるよう、様々な支援に取り組んでいきます。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
週1回以上スポーツをする20歳以上の市民の割合(%)	目標値		➡	➡	➡	➡	50	◎
	実績値	44.3	46.3	41.0	54.0			
健康づくり事業へ参加する市民の割合(10/1時点人口比)(%)	目標値		➡	➡	➡	➡	30.0	▲
	実績値	25.0	0.0	6.3	11.0			
いきいき百歳体操参加者数(人/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	1,500	○
	実績値	1,015	1,498	1,307	1,244			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	産学官連携による健康イベント等の開催 評価 ▲	今後の取り組み予定 企業等の経験能力を活かせる事業の検討、実施
	各種企業、大学等による協定締結などは推進されているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業等の経験能力を活かした事業が展開できなかった。	
(2)	健康講座の開催 評価 ▲	今後の取り組み予定
	生活習慣病予防講座 R4年度 1回 高血圧予防講座18人	オンライン等による講座開催などの普及を試行
(3)	介護予防事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	高齢者の健康づくりとともに、生きがい支援、地域の見守り活動ともつながりのある介護予防事業「いきいき百歳体操」の普及、定着支援の継続 R2年度 8地区38会場、登録者数(R3. 4月現在)1,134人、サポーター数364人 R3年度 8地区38会場、参加者及びサポーター数1,307人 R4年度 8地区38会場、参加者及びサポーター数1,244人(コロナ禍で減少)	いきいき百歳体操の普及、定着支援の継続
(4)	各種健康診断の推進 評価 ○	今後の取り組み予定
	・特定健診の実施(受診率) R2:37.0%、R3:34.4% R4:34.4% ・特定保健指導の実施(利用率) R2:20.1%、R3:12.8% R4:5.8% ・健康診査の実施(受診率) R2:38.1%、R3:38.7% R4:39.6%	・特定健診の実施 ・特定保健指導の実施 ・健康診査の実施
(5)	健康づくり、体力づくりのための環境整備 評価 ○	今後の取り組み予定
	・「はにゅう筋力UP!体操」を考案し、市HP等で紹介(令和2年度) ・「ムジナもん体操」の動画の更新(令和2年度) ・「はにゅう筋力UP!体操」マニュアルを作成し、広く周知(令和3年度) ・「ムジナもん体操スローバージョン」を作成し、市HP等で紹介(令和4年度)	継続して実施 ・生涯学習出前講座やニュースポーツ出前教室を活用した普及の推進
(6)	ニュースポーツ出前講座 評価 ○	今後の取り組み予定
	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(令和2年度) ・市内9地区で参加人数を制限して実施(令和3年度)参加者合計:141名 ・市内9地区を4ブロックに分けて実施(令和4年度)参加者合計:101名	健康づくり推進課と連携して、継続して実施 ・スポーツ推進委員が主体となり実施方法や実施種目を検討

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
	1 一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりを推進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	健康づくり推進課
関係課	高齢介護課・国保年金課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
市民一人ひとりが生涯にわたって健康な生活が送れるよう、様々な支援に取り組んでいきます。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
<p>3-1 1枚目 にまとめて記載</p>								
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(7)	チャレンジtheスポーツ事業 評価 ○ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(令和2年度・令和3年度) ・スポフェスinはにゅう(指定管理者自主事業)と併せて実施(令和4年度) 参加者合計:37名	今後の取り組み予定 健康づくり推進課・指定管理者と連携し、継続して実施 ・指定管理者と連携して実施
(8)	スポーツレクリエーション事業 評価 ○ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(令和2年度) ・市フロアカーリング大会を規模を縮小して実施(令和3年度)38チーム・130名 ・市フロアカーリング大会を規模を縮小して実施(令和4年度)55チーム・179名 ・マラソン大会の実施 令和4年度 エントリー数1,224名 当日参加者1,068名	今後の取り組み予定 継続して実施 ・はにゅうスポ・レクフェスタ(新規事業)の実施
(9)	評価	今後の取り組み予定
(10)	評価	今後の取り組み予定
(11)	評価	今後の取り組み予定
(12)	評価	今後の取り組み予定

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
	2 安全で安心なまちづくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	地域振興課
関係課	秘書広報課・市民生活課・建設課

3 基本施策の方向性
市民の誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
防災訓練を実施した自主防災組織数(件/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	74	▲
	実績値	58	12	17	24			
全刑法犯認知件数(件/年(1~12月))	目標値		➡	➡	➡	➡	412	◎
	実績値	453	430	436	381			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	自主防災組織への支援 ○自主防災組織資機材整備・活動支援事業として自主防災組織育成補助金を交付。 ・実績：R1年度…資機材整備0件、活動支援58件 R2年度…資機材整備2件、活動支援12件 R3年度…活動支援17件 令和4年度…活動支援30件 ・R2年度自主防災組織育成補助金の制度を一部改正 ・R3年度避難所運営マニュアルを修正	○自主防災組織育成補助金制度の運用(資機材整備、活動支援)
(2)	防災備蓄の推進 ○消費期限が定められている物資についてはローテーションによる購入。 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策に対応した消毒液、パーテーション等を購入。	○必要に応じた防災備蓄品の購入
(3)	内水害対策の推進 ○利根川治水対策として、国の首都圏氾濫区域堤防強化対策における地元調整等支援している。 ・利根川I期区間(五霞町~村君地区)用地買収進捗率約98%、堤防強化対策進捗率約93%(令和5年3月末現在) ・利根川II期区間(丹戸地区~深谷市)用地買収進捗率約47%、堤防強化対策進捗率約5%(令和5年3月末現在) ○県の中川河道改修事業における地元調整等支援している。 ・中川河道改修 用地買収率99.9%、工事進捗率84.3%(令和5年3月末現在) ○小松台調整池排水ポンプの交換、南羽生第3調整池の土砂浚渫を実施。	○羽生市浸水対策基本計画に基づき、効果的な内水害対策として排水ポンプの適切な維持管理、南中学校校庭貯留施設の整備(R5)、幹線水路及び南羽生第2調整池の浚渫(R6)を実施。
(4)	防犯啓発の推進 ○各季(春・夏・秋・年末)防犯運動で、街頭キャンペーン等を実施。 ○地域安全・暴力排除総決起大会を開催(令和3、4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。防犯ポスター・地域安全功労者表彰式のみ開催)	○各季(春・夏・秋・年末)防犯運動で、街頭キャンペーン等を実施。 ○地域安全・暴力排除総決起大会を開催。
(5)	自主防犯活動への支援 ○地域安全推進連絡協議会へ交付金を交付。 ○メール配信サービスを活用した犯罪情報の提供	○地域安全推進連絡協議会へ交付金を交付。 ○メール配信サービスを活用した犯罪情報の提供
(6)	防犯施設の整備 ○防犯灯未設置箇所への防犯灯整備。 ・新設：H30年度…236基、R1年度…59基 R2年度…92基 R3年度…109基 R4年度…107基 ○羽生駅自由通路設置防犯カメラ15基の維持管理。警察署より捜査依頼があった場合に防犯カメラの録画画像の提供。 ・提供件数：H30年度…8件、R1年度…15件、R2年度…8件、R3年度…17件 R4年度…17件 ○埼玉県警察本部にイオンモール羽生周辺への交番設置を要望。	○未設置箇所への計画的なLED防犯灯整備。 ○羽生駅舎に設置の防犯カメラ15台の維持管理。 ○埼玉県警察本部にイオンモール羽生周辺への交番設置を要望。

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
	2 安全で安心なまちづくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	地域振興課
関係課	秘書広報課・市民生活課・建設課

3 基本施策の方向性
市民の誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
<p>3-2 1枚目 にまとめて記載</p>								
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(7)	外国人住民への支援 日本語教室の開催 ・毎月第1・3日曜日 午前10時~12時 中央公民館 R2: 19回開催(延べ57名受講) R3: 20回開催(延べ36名受講) R4: 17回開催(延べ57名受講)	○ 今後の取り組み予定 日本語教室の開催 ・毎月第1・3日曜日 午前10時~12時 ・中央公民館
(8)	評価	今後の取り組み予定
(9)	評価	今後の取り組み予定
(10)	評価	今後の取り組み予定
(11)	評価	今後の取り組み予定
(12)	評価	今後の取り組み予定

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
	3 優れた住環境を提供する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	まちづくり政策課
関係課	地域振興課・企画課・社会福祉課・高齢介護課・商工課・環境課

3 基本施策の方向性
<p>便利で快適な街並みの創出に努め、誰もが暮らしやすい、住み続けたいと感じる「市民満足度の高いまちづくり」を目指します。</p>

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
岩瀬土地区画整理事業の進捗面積(ha、累計)	目標値		➡	➡	➡	➡	42.5	▲
	実績値	27.5	30.7	30.7	31.5			
羽生駅発着数(本/日)	目標値		➡	➡	➡	➡	207	▲
	実績値	202	196	189	188			
商店街空き店舗対策モデル事業活用件数(件/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	3	○
	実績値	2	3	2	3			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	岩瀬土地区画整理事業の促進 評価 ○ ○南工区先行整備街区の仮換地変更に伴い、用途地区・地区計画を変更した。 ○北工区先行整備街区の企業進出(丸和油脂)に伴い、用途地区・地区計画を変更した。 ○北工区先行整備街区の造成工事中	今後の取り組み予定 ○令和5年度北工区先行整備街区工事完了 ○令和5年度北工区先行整備街区の一部について地区計画変更予定(丸和油脂工場建築現場北側)
(2)	優良住宅地としての都市基盤整備の推進 評価 ○ ○岩瀬土地区画整理事業南工区先行整備街区の優良住宅街区全84戸中57戸入居。 ○新たな住宅街区の適地を調査中。 ○優良住宅街区南側の公園整備完了。(建設課)	今後の取り組み予定 ○住宅生産振興財団と新たな優良住宅街区を検討する。
(3)	商業施設の誘致 評価 ○ ○岩瀬土地区画整理事業南工区先行整備街区の商業街区に1社新たな出店が決まった。(今回の出店により商業街区の空地は無くなった。)	今後の取り組み予定 ○岩瀬土地区画整理組合と協力し、商業街区以外の空地への誘致を進める。
(4)	東武鉄道・秩父鉄道への発着列車増便等の要望等 評価 ○ ○東武鉄道伊勢崎線輸送力増強推進協議会の会長市として、同鉄道輸送力改善に係る要望を行った。要望活動の方法として令和2・3年度は陳情書の郵送としたが、令和4年度は対面により実施した。 ○埼玉県を通じ東武鉄道(株)及び秩父鉄道(株)へ、輸送力改善に係る要望を行った。	今後の取り組み予定 ○今後の鉄道利用の状況変化を注視し、要望内容を適宜見直していく。
(5)	地域公共交通サービスの充実 評価 ◎ ○デマンド交通導入の検討及び方向性の決定 ・先事例視察等を実施 ○令和2年度公共交通に関する市民アンケート調査を実施(1,500人対象) ○地域公共交通会議を開催(令和3年度:2回 令和4年度:2回) ・令和4年10月からのりあいタクシーの実証運行を実施	今後の取り組み予定 ○令和5年度に公共交通に関する市民アンケートを実施 ○本運行時の対象者拡大に向けた増車や賃料等の検討 ○公共交通会議の意見及び実証運行の状況等から羽生市としての公共交通の決定
(6)	買い物弱者支援 評価 ○ ○宅配電話帳(R1作成)の周知、PRを行った。 ○デマンド交通(のりあいタクシー)開始。 ○社会福祉協議会が実施する移動販売車による食品販売事業が開始、その事業を支援した。	今後の取り組み予定 ○引き続き関係機関の協力を得て、宅配電話帳の周知を行う。 ○改訂の検討 ○社会福祉協議会が実施する移動販売車による食品販売事業を今後も支援する。

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
	3 優れた住環境を提供する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	まちづくり政策課
関係課	地域振興課・企画課・社会福祉課・高齢介護課・商工課・環境課

3 基本施策の方向性
便利で快適な街並みの創出に努め、誰もが暮らしやすい、住み続けたいと感じる「市民満足度の高いまちづくり」を目指します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
<p>3-3 1枚目 にまとめて記載</p>								
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(7)	公共施設等マネジメントの推進 評価 ◎ ○羽生市公共施設個別施設計画を令和3年度に策定及び一部改訂を行った。 ○リーディングプロジェクト推進により女性センター機能を市民プラザに令和5年4月に集約化した。さらに、公立保育所再編事業(第6.7再編新設)、学校適正規模・適正配置(井泉小、村君小、三田谷小)を推進した。	今後の取り組み予定 ○公立保育所の再編を行う予定(第6.7統合新設R7開園予定等)。 ○小学校の適正配置を行う予定(井泉小、三田谷小、村君小R7再配置予定)。
(8)	羽生市空家等対策計画による空き家の適正管理等の促進 評価 ○ ○令和5年3月に「第2次羽生市空家等対策計画」を策定した。 ○令和4年10月に自治会連合会による「空家等状況調査」の第1次調査を実施した。 ○毎年5月に送付する固定資産税納税通知書(約24,000通)に、空き家・空き地の適正管理や空き家・空き地個別相談会についての案内文書を一緒に郵送。 ○関係団体と連携し、空き家・空き地個別相談会を開催。7回の開催で35組の相談があり、管理・相続等空き家・空き地の今後について相談者に助言を行った。	今後の取り組み予定 ○環境課による第2次調査を実施し、「空家等状況調査」の調査結果を10月頃に公表予定 ○啓発文書の送付及び空き家・空き地個別相談会の開催の継続。
(9)	中心市街地活性化の促進 評価 ○ ○商店街賑わいづくり支援事業 ・商店街空き店舗対策モデル事業費補助 R2:3件 R3:2件 R4:3件 ・空き店舗相談件数 R2:5件 R3:6件 R4:4件 ・MALL DESIGN実行委員会(MD)を組成 実行委員数 R2:59名 R3:76名 R4:94名 ・MD活動拠点施設(MD Library)を松原通り商店会内にオープン(R3.8) 応援実績 R3:延べ166人 R4:延べ212人 ○市民プラザ管理運営 R2:利用1,907件 利用者数35,456人 R3:利用2,192件 利用者数57,161人 R4:利用1,912件 利用者数41,443人	今後の取り組み予定 ○引き続き、MALL DESIGN実行委員会との連携により商店街活性化のためのイベント等の開催を行い、個性と魅力に満ちた活気ある商店街づくりを支援する。 ○市民プラザについては、引き続き適正な管理運営を行う。
(10)	評価	今後の取り組み予定
(11)	評価	今後の取り組み予定
(12)	評価	今後の取り組み予定

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める
	1 地域資源を生かす

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	観光プロモーション課
関係課	生涯学習課

3 基本施策の方向性
特産品、自然、文化財、キャラクターなどを地域資源として積極的に活用、発信し、戦略的にシティプロモーションを行うことで本市の知名度を向上させ、定住、観光、関係人口の創出に努めます。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
文化財講座等の実施(回/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	12	▲
	実績値	6	2	3	5			
ロケーションの誘致回数(件/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	30	▲
	実績値	13	19	24	13			
ふるさと納税の返礼品の数(品)	目標値		➡	➡	➡	➡	200	◎
	実績値	100	230	300	340			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	キャラクターの活用 評価 ○ <ul style="list-style-type: none"> 企業等へのキャラクター使用やムジナもんファンクラブを活用して認知度向上や市のPRを図った。 キャラクターイベントについてはオンラインでのイベントも開催し、視聴者も多く地場産品のPRも同時に効果的に行うことができた。 	今後の取り組み予定 <ul style="list-style-type: none"> キャラクター認知度向上とともに、市民や市内法人の利用回数の向上を図る。 ムジナもんファンクラブの会員と協賛企業を増加を図る。 引き続き市外イベントへの出展やムジナもん応援団の協力等により着ぐるみを活用し、キャラクターの聖地として羽生市のPRを行う。
(2)	SNSや動画の活用 評価 ○ <ul style="list-style-type: none"> TwitterやYoutubeを活用して積極的に情報発信を行った。(Twitter フォロワー数:5,174人、Youtube登録者数:2,330人) 行政手続等や各種イベント案内を動画にて発信した。 オンラインでの生配信のイベントを開催した。 	今後の取り組み予定 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、SNSや動画を活用し情報発信の充実を図る。 動画機材を有効に活用し、様々な分野で羽生をPRできるよう努める。
(3)	羽生市ロケーションサービスによるロケーション誘致 評価 ○ <ul style="list-style-type: none"> 撮影に関する相談や調整に積極的に取り組んだ結果、以前撮影した制作者からのリピートが増え、件数増加につながっていったが、コロナ禍が落ち着き、都内での撮影が増えたことにより令和4年度は減少した。 一方、翔んで埼玉2など大規模な作品を誘致することができた。 新たな撮影場所を追加する等、随時ホームページを更新し充実を努めている。 	今後の取り組み予定 <ul style="list-style-type: none"> ホームページの充実や刷新を図る。 ロケコーディネーターや製作会社との関係性を良好に保ち件数の増加を図る。 ロケ地やPRによる交流人口の増加を目指す。
(4)	文化財等の講座の開催 評価 ○ <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、「ムジナモの生態と掘上田」をテーマに羽生学講座を2回(10/3,10/24)実施した。 令和3年度は、羽生市ムジナモ発見100周年記念に伴い、記念講演会(7/18)を開催した。 令和4年度は、林宏一氏を講師に招き、「羽生市の仏像」をテーマにした羽生学講座公開講演会(第11回・12/3)を開催した。 	今後の取り組み予定 <ul style="list-style-type: none"> 文化財を巡る市内の歴史や文化について理解の深化を図るための講座を企画・実施する。
(5)	文化財等の保護・啓発 評価 ○ <ul style="list-style-type: none"> 国指定天然記念物宝蔵寺沼ムジナモ自生地について、保護増殖事業、自生促進事業、陸地化した水路の掘削等を実施し、ムジナモの自生状況を改善を促進した。 県指定天然記念物勅兵衛マツについて、樹勢回復のための薬剤散布やコモ巻き等を実施した。 市指定史跡伝馬堀越館跡について、整備業務として下草刈や高木剪定を実施した。 獅子舞見学会(上村君、下手子林、桑崎)は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。 	今後の取り組み予定 <ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護が適切に行われるよう引き続き各種施策を講ずる。また、文化財保護精神の啓発に努める。
(6)	ムジナモの活用 評価 ○ <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、宝蔵寺沼ムジナモ自生地の一般公開を4回、自生地観察会(8/1)を実施した。 令和3年度は、羽生市ムジナモ発見100周年記念に伴い、自生地見学会(10/2)、パネル展(7月~3月)を実施した。また、ムジナモ自生地の一般公開を4回実施した。 令和4年度は、天然記念物の啓発及び身近な自然に触れる事業として、宝蔵寺沼ムジナモ自生地見学会を6回実施した。 	今後の取り組み予定 <ul style="list-style-type: none"> ムジナモの自生状態を安定化させ、県のレッドデータの「野生絶滅」から「絶滅危惧種」へのランクダウンを目指す。また、R5年度については、国内初のムジナモ発見者牧野富太郎博士が注目を集めていることから、パネル展示及びムジナモ講演会等を行う予定である。

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ○順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める
	1 地域資源を生かす

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	観光プロモーション課
関係課	生涯学習課

3 基本施策の方向性
<p>特産品、自然、文化財、キャラクターなどを地域資源として積極的に活用、発信し、戦略的にシティプロモーションを行うことで本市の知名度を向上させ、定住、観光、関係人口の創出に努めます。</p>

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
<p>4-1 1枚目 にまとめて記載</p>								
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(7)	<p>ふるさと納税返礼品の拡大</p> <p>評価 ◎</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内事業者を訪問し、羽生市内で作られている商品を開拓している。 サイトの見栄えや情報を充実させ、寄附者に詳しい情報を伝わるよう努めている。 <p>品数(事業者数)340品(70社)</p>	<p>今後の取り組み予定</p> <p>先進事例を参考にして広告宣伝にも力を入れ、寄附額向上を目指す。</p>
(8)	<p>評価</p>	<p>今後の取り組み予定</p>
(9)	<p>評価</p>	<p>今後の取り組み予定</p>
(10)	<p>評価</p>	<p>今後の取り組み予定</p>
(11)	<p>評価</p>	<p>今後の取り組み予定</p>
(12)	<p>評価</p>	<p>今後の取り組み予定</p>

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める
	2 観光を振興する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	観光プロモーション課
関係課	商工課・農政課

3 基本施策の方向性
羽生市観光基本計画に基づき、市民や事業者、行政の協働のもとに計画を推進することで観光交流人口を増やし、もって羽生市のにぎわいの創出を目指します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
世界キャラクターさみっとin羽生の来場者数(人/年)	目標値		➡	➡	➡	➡	30万	▲
	実績値	11.5万	-	-	5.2万人			
観光農園新規参入事業者数(者、累計)	目標値		➡	➡	➡	➡	5	◎
	実績値	1	4	4	4			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
s	世界キャラクターさみっとin羽生開催事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2、3年度事業については新型コロナウイルスの影響によりリアルイベントではなく、開催を予定していた日程に合わせて配信イベントを実施し、市のPR(ふるさと納税、地域文化活動、飲食店応援)を行った。配信にあたっては多くのキャラクターや自治体、関係団体にも参加していただいた。 令和4年度は会場をイオンモールとし、リアルイベント、生配信を同時に開催した。 キャラクターのPR以外にも市内グルメ、物産店の出店、ふるさと納税のPR企画などを実施した。(参加キャラクター146キャラ、参加団体137団体) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き国内外のご当地キャラクター団体と連携し、地方創生イベントとして世界最大のキャラクターイベントを実施する。 新たに市民ボランティアの呼びかけや会場の見直しを行う。 全国各地の団体と連携しまちおこしイベントとして盛り上がる知恵を出し合いながらご当地キャラクターだけでなく、文化や伝統、地場産業、ふるさと納税のPRなど情報発信の場として一層の充実を図る。
(2)	利根川等地域資源活用事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> 利根川の魅力を育む会と連携を図り利根川活用のイベントを開催する。 利根川での漁業券をふるさと納税返礼品に加えた。 令和4年度に利根川観光活用ワークショップを開催し、利根川の観光活用について具体的なイベントを展開した。(利根川歴史散策や河川敷でのBBQ、石ころアートなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 行田市、加須市とも連携を図り広域的に利根川でのアクティビティを開発していく。
(3)	観光農園事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> 観光農園等基本構想計画地への企業参入に向け、農地改良(畑地化)を実施した。 キヤッセ羽生でブルーベリーや各種野菜の収穫体験を実施した。 キヤッセ羽生と近隣観光施設等関係機関と連携したイベントや広告等を行った。 近隣観光施設との連携事業として、羽生水郷公園内にハーブ園を整備した。 集客力強化のため、参入事業者の6次化(キッパ-整備)を支援(R2:2件、R3:1件) 	<ul style="list-style-type: none"> 観光農園等基本構想計画地への参入企業の選定及び企業との連携強化。 羽生水郷公園内のハーブ園の整備継続 観光交流人口増加に向け、近隣観光施設とのネットワークを強化し、相乗効果を図る。
(4)	藍染振興事業 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> ブラザふれ藍ショップを運営 R2:177点 415,877円 R3:174点 511,218円 R4:150点 486,530円 市民プラザでの藍染体験者数 R2:288人 R3:657人 R4:662人 市内小学生による市民プラザ藍染体験 市内栽培の蓼藍を活用した「叩き染め体験」R2:12人 R3:12人 R4:12人 2020東京オリンピック・パラリンピック記念品プロジェクトに参画し、組織委員会に対して藍染製品を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ブラザふれ藍ショップの充実、藍染体験の利用促進、イベントへの参加、PR強化 引き続き地場産業、藍染製品のPR、販売促進 市内藍染企業に対して商品PR等、技術的支援について情報提供
(5)	観光拠点施設等の有効活用 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> ○キヤッセ羽生において観光農園事業として収穫体験の充実を図り、県・市・公園緑地協会・近隣観光施設等関係機関と連携したイベントや広告等を行った。 ○チャレンジファーム参入業者と連携した新たなサービスの創設。 ○三田ヶ谷農林公園に指定管理者制度を導入し、指定管理者を選定。 ○指定管理者による道の駅はにゅうの適正な管理運営。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジファーム参入業者と連携した新たなサービスの充実 ○三田ヶ谷農林公園指定管理者による集客力アップと適正な管理運営 ○道の駅はにゅう次期指定管理者選定に向けて、適正な
(6)	地場産業「藍染」等のPR 評価 ○	今後の取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉WABISABI大祭典に出展し、藍染体験、PRを実施 ・R2:出展無 R3:2日間 ・全国プレゼンテーションコンクールin羽生、藍のまちさわやか羽生マラソン大会に出展し、藍染製品の展示・販売 R2、R3:中止 ・「青織の市」(R3.11.7)に出展し、藍染体験を実施 ・羽生駅自由通路ショーケースに羽生市産地産業振興協議会による地場産品展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、羽生駅自由通路ショーケースにおける製品展示 ・藍染PRのため、イベントへの出展 ・道の駅はにゅう河川情報室に藍染に関するPRパネルの展示

【評価】令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている

1 政策名および施策名	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める
	3 転入を促進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	企画課
関係課	

3 基本施策の方向性
羽生市に居住することで得られる市民サービスを積極的に発信し、羽生市に移住、定住する人の流れを促進します。

4 事業のKPI								
指標名(単位)	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況
人口の社会増加数(人、累計) ※R1実績値はH28~H30の平均値	目標値		➡	➡	➡	➡	750	◎
	実績値	138	△14	188	642			
住みよさランキング(東洋経済新報社発表、県内40市中順位)	目標値		➡	➡	➡	➡	10位	▲
	実績値	21位	19位	17	17			
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

5	これまでの取り組みと評価(令和2~4年度)	今後の取り組み予定(令和5・6年度)
(1)	埼玉県や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会との移住連携事業の実施 評価 ○	今後の取り組み予定 ・県と連携し、本市の実情と合致する移住相談イベント等に積極的に参加し、PRを行う。
(2)	移住相談の受付 評価 ▲ ・転入希望者からの相談を受け付け、要望に応じた情報提供等を行った。 (実績) 令和2年度 2件 令和3年度 4件 令和4年度 0件	今後の取り組み予定 ・転入希望者の相談受付は継続し、市のPRに努める。
(3)	移住・定住のPR 評価 ○ ・市ホームページに移住専用ページを新設した。 ・羽生市に移住した方のインタビュー記事などを掲載した移住に係るPR冊子を作成し、市内外の施設に配架するなどし、PRを行った。 ・移住に係る市公式Instagramを開設した。 ・全国二地域居住等促進協議会に加入した(令和3年2月設立)。	今後の取り組み予定 ・PR動画の掲載など、移住専用ページを拡充する。 ・PR冊子を活用し、移住関連イベントや「ふるさと回帰支援センター(移住相談窓口)」などで配布する。 ・全国二地域居住等促進協議会での情報共有を通じて、効果的な移住施策を検討する。
(4)	評価	今後の取り組み予定
(5)	評価	今後の取り組み予定
(6)	評価	今後の取り組み予定

【評価】 令和4年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている